緑ケ丘だより

発　行　　令和５年７月
座間市緑ケ丘地区自治会連合会

自治会のメリット

緑ケ丘南自治会　会長　湯浅一弘　１９４世帯

先日、入っている意味を感じないということを理由に自治会を退会された方がいました。自治会に入るメリットはと問われる方や入ると面倒くさくなると言われる方もいらっしゃいます。面倒だという認識は、おそらく組長や役員になると負担が大きくなるということを指しているのだろうと思います。

自治会によって異なるとは思いますが、組長や役員の負荷を工夫しながら軽減しているところも多くなってきています。以前も緑ケ丘だよりに書きましたが、緑ケ丘南自治会でも、多くの負荷軽減策を実施してきています。組長の方には、会費集金のほかには、年間数回の会議に出席いただくだけになっていますし、役員の方にも、「できる範囲で無理せずに」やっていただくことを基本としています。

さくら祭りや盆踊り、どんど焼きなどは誰かがやってくれるもの、避難所はその時になれば誰かが開設するもの、助けが必要な方の支援は専門家がやるもの、別に自治会に入っていなくても参加できるし、利用できるし、助けてくれるものと思っている人は多いと感じます。ところが、そう思う人が自治会から抜けて行き、会員が減少して行き自治会の運営がままならなくなると、自治会は無くなります。自治会がなくなると、お祭りや行事はできなくなり、避難所の開設もできなくなります。

個々の人が自分にとっての「自治会に入るメリット」だけを考えるのではなく、「自治会がそこにあることのメリット」に気づいていただくことが大事なのだろうと思いますし、自治会もそのことをもっと皆さんに訴求する必要があるのだろうと思います。自治会に入っているから手伝いをしなければいけなくなるという旧来の考え方ではなく、自治会に入って自治会の存続に寄与しているから大手を振って自治会があることのメリットを享受していただければと思っています。

令和5年度役員・会員数

役職名	氏名	所属自治会	会員数
会長	湯浅 一弘	緑ケ丘南	194
副会長	川辺 裕敏	新緑ケ丘	136
書記	立石 太駿	小田急相武台南	105
会計	百瀬 智一	緑ケ丘中央	231
会計監査	大西 正則	第一住宅相武台団地	159
幹事(防災)	比嘉 靖	さつき	160
幹事(防犯)	高橋 利行	わかば	23
幹事(広報)	大塚 幸伸	緑ケ丘六丁目	126
総連合会会長	湯浅 一弘	緑ケ丘南	
専任理事	百瀬 智一	緑ケ丘中央	
		合計	1,134

自治会会長職の任命

１０５世帯
小田急相武台南自治会　会長　立石太駿

今年度の相武台南自治会の会長を承りました立石と申します。任命されてから約３ヶ月が経ち、まだ慣れない状況が続いておりますが日々精進してまいる所存です。

私は最近読んだ本のオススメを紹介したいと思います。「現役東大生が書いた地頭を鍛えるフェルミ推定」フェルミ推定とは実際に調査することが難しい捉えどころのない量を、いくつかの手掛かりを元に論理的に推論し、概算することである。

例えば「羽田空港の１日の利用者は何人か？」など、一見見当もつかないような量に関して推定する事。そんな答えは出せる訳ないと感じるかしれないが、羽田空港の１日の利用者の算出方法は以下と想定できる。（但し、お土産や見送りのみの利用者は除外する）

「１日の利用者＝１日の総便数×１便あたりの乗客数」大まかにこの計算式を立てたらそれぞれを分解して考えていく。飛行機というのは発着陸の１分を短縮するために日々企業努力をしている。体感だが羽田空港では５分に１本は出ているだろう。すると計算上１時間に１２本飛んでいる事となる。そして営業時間は始発が６時で最終便は２２１時頃まであるため１５時間。そして滑走路は３本ある。すると便数は12×15×3で540本となる。
1便あたりの乗車人数は、小型機がキャパ200人～ジャンボ機が500人程なので間をとって350人とする。乗車率は体感で80%程なため、280人。これらを計算式に当てはめると、540便×280人＝151,200人と算出できる。
実際に調べてみると羽田空港の年間利用者数は約5000万人なので、1日あたりに換算すると約14万人であるためかなり近い数値を出す事ができた。

この様に論理的思考を磨くだけで無く、頭の体操にもなるためこの本をオススメしたいと思います。

是非読んでみてください。

過去の「緑ケ丘だより」は市自連のホームページに掲載されています。

座間市市自連　検索
座間市自治会総連合会　検索
中段の自治会活動の記事　検索
地区自連マップ　スクロール　緑ケ丘地区
緑ケ丘地区自治会連合会・・地区自連活動報告・「緑ケ丘だより」

自治会って必要なの？

緑ケ丘中央自治会　会長　百瀬智一　２３１世帯

会長３期目となり初めて市自連の組織部会に参加して来ました。他地区の先輩方ともお話しでき、自治会ごとに抱えている問題、活動内容の違いなども感じましたが、それでも共通の悩みは加入率の減少。理想像はあっても皆が会員になっていなければ必要な活動もできません。緑ヶ丘中央自治会では活動にご理解いただいている世帯も多く何とか続けられていますが、それでも年々高齢を理由に退会を希望される方が後を絶ちません。高齢の方や日常生活が不便な方には役職免除とし、会費の減額等も提案したくても、それでは一般の方に申し訳ないのでやはり退会したいと負の連鎖で、有効な改善策が立てられていない状況です。

座間市にとって自治会は必要な組織なのかという話題が出ました。加入は任意なので、自治会員と他の市民を区別はできないとの論理のままでは加入率は年々下がって行く。
自治会の負担を軽減するための施策は感じられるが、加入させるためには何をしてくれているのかと。

住環境の維持改善、防犯、美化は自治会の事業だと思いますが、イベントは諸刃の剣で地域の交流を支えている一方で自治会役員の負担を大きくしている点、市や関連団体とともに開催方法を整理していけないものか。
そして防災対策、災害時対応。災害時に市から受けられる行政サービスは全市民同じでなければなりませんが、自治会員は自治会が窓口となり対応し、非自治会員は直接市の窓口での対応とし、受付時に安心感を与えるだけでもメリットとなるのでは。また市自連は今年度中に自治会員限定クーポン券を発行する計画です。市の商店会だけでなく座間市が協力、支援してくれなければ成し得ない事業だと思われますが、市からの発信で自治会の存在を改めて知らしめることにも大きな意義があると期待しています。湯浅会長のお力でぜひ実現していただきたい。
例年通りの自治会から少しでも前に動き出していけるよう、私も微力ながら努めていきたいと思います。

「今年の目標」

１３７世帯

新緑ケ丘自治会　会長　川辺裕敏

会長職を引き受けて、二年目になります。
今年もよろしくお願いします。

昨年度を振り返り、自治会として今年の目標を考えてみました。今、取り組まなくてはならないこと(やったほうが良いことがら)や現状での問題点を洗いだし、解決してゆく手立てを考えました。

１つ目は、ごみ集積所の問題です。最近はカラスがとても増え、特に燃やすごみの日には「集積所」に集まり防御ネットをしていても隙間や下からごみを引っ張り出し、散らかしている場所を多く見かけます。
歩行や車の通行に邪魔になっています
そうしたことから、自治会では役員さんを中心に「集積所」の改善に取り組んでいます。
ネットしかなかった場所には木製の囲いを作りその中に置けるようにしました。
また、正面のとりだす場所にプラスチック製のかごを備え付け、引っ張り出されないようにしました。まだまだすべての場所ではないのですが、今年中には終えたいと思います。

また、違法投棄の問題もあります。指定されていないものが「集積所」にある場合には当番の方や近所の方が片付けているのがほとんどです。皆さんの協力により何とかなっていますが今後、ごみの出し方についてはさらに周知徹底を図りたいと思います。

２つめは、この地域に住まれている方々の自治会活動への参加・協力のお願いです昨年。の経験からしても、参加や協力することで近隣の方と顔見知りとなり会話する機会が増え、それらが地域の見えないネットワークとなってきます。回覧板を回すときやゴミ収集所や集会場での清掃当番などの際、他愛ない会話をかわすことを通してご近所さんのみんなの顔が分かるようになり、挨拶だけでなく話しかけられるようにもなります。いざというときに発揮できる力は想像以上に大きくなると思います。

昨年よりは今年の方が向上が見られたと、年度末に思えるように役員・班長さんはじめ、みんなで協力し一緒になってよりよい環境の中で生活できる「自治会」目指して頑張りたいと思います。

令和５年度　どんど焼きの予算について
（委員会はお金を引き出す魔法のことば）

緑ケ丘六丁目自治会　会長　大塚幸伸　１２６世帯

令和５年度の緑ケ丘地区自連の予算案について反対しました。反対したのは私一人だけでした。
なぜ反対したかは、社協が主体で行っているどんど焼きについて、委員会形式にしたので約半分の経費を折半になるのがの自然の流れだという理由で計上されていたからです。

自己紹介しますと、平成２７年度に自治会長になって、地区自連では１年目は事業内容がよく分かるために会計を担当し、２年目以降はほぼ広報を担当し緑ケ丘だよりを長年作って来ました。

地区社協では地元自治会の社協担当が誰もいなかったので私が出席し、１０名程の役員の中で自治会長は私一人でした。少人数だったので、ふれあい交流会、市民レクでのパン食い競争（自連より１万円の予算）、どんど焼きの実行に携わった。どんど焼きでは１回だが責任者にされました。２９年度ころ構成員を各自治会長プラス担当者１名、民生委員さんその他の人々に範囲を広げること３０数名になってからは、出席を遠慮している。
見守り要支援部会・居場所部会・行事部会・広報部会。
最後は総会で、広報の記事である自治会がどんど焼き時に焼き芋の出店があったが、その芋代金は社協が支出のこと書いてないので誤解を与えるとの質問をしたことを記憶している。記事の内容は半分は事実だが誤解を与えるとの思いで発言した。記事を書いた人はそこまで知らないのではと。チェック体制不備ではと。

どんど焼きについては、緑ケ丘地区社会福祉協議会が主体で経費を持ち、緑ケ丘地区自連は焚火の管理を依頼されていました。毎年暮れになると社協の会長が地区自連の役員会に出席され、A4４頁の資料で丁寧に作業内容を説明され、地区自連には焚火の管理と人手があればどんどん焼きに伴う作業の協力を依頼されていました。終了後は火の始末・灰の処理・清掃を。
まき類については、社協が集めかにが沢公園入り口の自治会館の物置きの後ろにビニールシートで保管させてほしいと。

コロナ以前は、３つのお団子を配り、それを先端に３つの串のついた竹竿に刺して、その団子を先端に付けて火にあぶる。竿の使用後は竿は返却され先端をきれいに洗う。人手のいる作業現場だった。その他子供さん用にお菓子を１００個とか、酒・コーヒー・ジュースのコーナーを用意していました。

焚火のところではまきを運び、焚火の中心から２ｍほどの所に鉄パイプを打ち、同じくパイプで周囲をかこう。これらはベテランさんがやってくれ火をつけた後はまきをくべる。焚火のところでは正月用のお飾り等の焼却も実施。持参した本人がくべるか、係員がくべるかでした。

各会長には焚火の際、火の粉が飛んで衣類に穴をあける恐れがあることを私からアドバイスしていました。

コロナ禍で紅白饅頭の配布となり、竿の使用は無くなりそのために人手は少なくなっている。

地区自連でどんど焼きを主体となってやってくれないかの話は以前からあったようだが、以前の会長の時、社協の会長と副会長さんが役員会に来て話をされたが、社協に予算が付いているのでしょうと断っている。
それから大分年数が経過しているが。

１　こうした中、地区自連の会長と社協の会長が同一となり数年が経った中で、地区自連の令和５年度予算案の中にどんど焼きの経費が突然計上されていた。
３月２５日の新旧の役員会の令和５年度予算案。
これについて資料もなく議案の読み上げだけで予算案に計上することの決を取り１人だけ大塚の反対だけであった。
３月定例会の議事録にあるように、
質問：支出の部でどんど焼きの予算はなぜ地区社協と折半になってしまったのか。
答え：実行委員会として活動しているため、折半になるのが普通の流れではないか。
●賛成が多いため、この予算案でいくこととする。
２　事業計画案　議案書P8
５地域ふれあい活動　市民レクリエーション地区大会の改善推進　４年度年・５年度同文
４年度：地区社協・民生委員等との協力、ふれあい交流会・どんど焼きへの協力。
５年度：どんど焼きの開催推進。地区社協との連携。に改変されていた。
３　どんど焼きの実行委員会をつくり、やっていきたいと湯浅会長から話があったのはいつ等。
９月１０日（土）　どんと焼き、社協と実行委員会形式で検討していく。会長・副会長・会計
１１月５日（土）　地区社協全体会議
１２日（土）１８時　どんど焼き実行委員会を。
１１月１２日（土）の役員会。１７時。委員会を作る。作りますと。会長・副会長・会計が出席すると。
会長・副会長・会計。５年度残留。
となりの部屋で、社協のメンバーが待機していた。
１８時、どんど焼き実行委員会（第１回）
●　「どんど焼きのような行事こそ自治会で開催すべき」という議論があったので、本年度から実行委員会の形にしたい。と記録されている
がこれは正しくない。そう言う１人の意見？もあったが、私が訂正の説明をしている。
１２月１０日（土）１８時、実行委員会（第２回）
実行委員会が決算を行う。
１月８日（日）どんど焼き　９時３０分より１１時、
経費は社協支出　１０６，０００円。
地区自連も　１０，０００円
１月１４日（土）１７時、定例役員会
どんど焼き実施報告　約５００名が参加
地区社協と折半予定等の予算化の話はなし。
３月２５日（土）１７時役員会。定期総会の歳出議案の所に５万円の予算あ案り。
４月　８日（土）　１７時、どんど焼きに５万円出すのはおかしいと反対するも可決される。
社協においては４月１日（土）定期総会で予算案可決。
私も出席して実行委員会で折半はおかしいと意見言う。
４　何の資料もなく短い説明と質疑で予算案に計上することの役員会やり方疑問。１月役員会になぜ案が。地元に持って帰り、賛否を協議する時間が必要では、各自治会会長だけでの判断でよいか。
社協の５年度予算　７０，０００円（１０万６千円前年度実績）５年度は実行委員会で予算化
地区自連　〃　５０，０００円　地区社協と折半予定・予算案
お団子代　２５千円　前年１０千円の支出。
５　地区自連は加入世帯の会費で運営　公金
事業の対象者は自治会会員
地区社協は活動助成金、寄付金の４０％　公金
事業の対象者は全住民
６　社協は、地区自連からのお金が入れば、やりたいことがあるとのことだが？
５年度予算　支出の予備費　３５，３７０円
未検討の活動実践のための費用。
７　委員会があるからお金を出すのが普通の流れではないか、私はこれは無理筋であると思う。
何か仕掛けを作ってお金を引き出すこと、品のある行動とは思わない。委員会でやるとお金がかかるのなら、委員会をやめればいい。資金流失・背任では。
地区自連の会長と社協の会長が同一となり数年がたったが、中立的立場からはみ出して、地区社協に一方的に肩入れの結果。２の事業計画；どんど焼きの開催推進に改変した。
８　なぜお金があるのか、　簡単に５万円の支出予算に会計が計上可能なのか？
代々の繰越金を清算していないため、事業縮小等でたっまている。各自治会にこの２年、還元していない。去年中に会計が検討する予定であったがなし。
私の案：次年度の会費徴収時までの必要経費を残して、皆に分配する。約１０万円を残して。
５年度歳入予算　前年度より繰越金６２６，２９６円
自治会費２３０円×１１３４名＝２６０，８２０円
歳出予算　予備費　５７０，５６６円

以上の疑問点を会長は、一般会員のためにも丁寧に説明すべきと思う。次回の「緑ケ丘だより」で。

私のおすすめの図書
・富山和子著「水と緑と土」
・宮脇　昭著「いのちの森づくり」
・林　　望著「イギリスはおいしい」
「帰らぬ日遠い昔」

●平成３０年度・令和元年度には健康ざま普及員でした。

自治会役員初参加

さつき自治会　会長　比嘉　靖　１６１世帯

この町に移住して２０数年、自治会初参加で会長就任。不慣れな会長ですが宜しくお願いします。

《ゴミ持ち去り》が気になり、燃えないごみの日に自宅前のゴミ集積場の様子を見ていた所、軽ワンボックス３台・日産キャラバン・原付バイク２台が次々登場。持ち去りを注意しましたが目の前で持ち去られてしまいました。市役所及び警察に通報して現場に来て頂いたのですが、解決するには難しそうです。この得体の知れない人達が徘徊する事により防犯上の不安を感じる方々がいます。

《防犯カメラ》が有ると安心材料になるかと思います。ご検討頂をお願いしたいです。

《栗原遊水地》散歩中の出来事です。

あるおばあちゃんが初めて来られた同世代の方に池の生き物などの説明をしている時に「ここは癒し処だよ、私が遊水地を案内するね。散歩する時は名札をつけて、私は名札をつけて散歩しているよ」と言っていました。以来、おばあちゃんに会うと会話をする様になりました。可愛いおばあちゃん貴女こそ癒しです。いつまでも元気でいてください。

池の水が、年々濁って来ています。一昔前は黒っぽい鯉が良く見えていましたが、最近では、かなり見辛くなってしまい一昔前の水質に戻って欲しいと、池に集う方達の思いです

又、目久尻川のグランド側から上流の辺りに6月30日現在、子鴨6羽家族と２羽家族が、居ます。とても可愛く癒されます。遊水地には様々な生き物が生息しています。池近くの掲示板に栗原フォトクラブニュースが掲示中です。この辺りで撮影された生き物や植物等の写真が掲載されているので興味のある方は見て下さい。

《最後に》過去に妻が役員をやった事がありますが私は、初参加、他の役員を経験してから会長に就任した方が、良かったのでしょうか、未経験のまま就任しました。「出来るだけの事をやって行きます。

よろしくお願い致します。」

「わかば自治会」からは原稿はありません。

自治会長になって二か月の新人

第一住宅自治会　会長　大西正則　１５９世帯

４０年以上も座間に住んでいます。初めて都内から座間の相武台前駅におり立った昭和４１年時は、まだ高座郡座間町だったように思う。着いたのが雨の日だったこともあるが、平屋の古びた駅舎にも驚き、さらに駅前のタクシー乗り場が舗装が無くて泥だらけだったことの記憶があります。

今の図書館前あたりには森が迫っていて、その泥道の農道に狸の死骸が転がっていたことにも驚きました。外資系のIT企業に入社して、その最先端機器の大ユーザーが当時太平洋地区司令部の米軍座間基地内にあると聞いて配属を願い出たのが座間に住み着いた理由です。

そうして永年第一地住宅に住み着いていながら、80歳を超えても会長職に着かなかったのは、恥ずかしいことながら他人とのお付き合いが全く下手であったからです。

家族からも、普段は無口なのに趣味が同じ人が来るとべらべら良くしゃべると笑われたりもしました。

両隣のお名前も覚えようとしない、覚えられない。ところが何があってか前会長の藤塚さんからの指名があって今回会長に任命され、いざ開始、ところがMessengerはおろかLineすらも使う環境に無い。湯浅会長のおっしゃるデジタル**化**・データーベース化の遅れなのか何から何まで紙の世界、役員との連絡は印刷してポストに投函して返答を待つ。対面と足、しかし、そのことで私の対人姿勢も少し変わったように思います。

今では、両隣どころか10人のブロック役員の家の所在も分かり、最初に必要としたブロック役員の宛名書き胸札も、無くても覚えられたし、159軒の会員の全てとは言わないけれどかなりの会員の方達とも会話をするようになりました。

その為には、防犯パトロールには必ず当番に同行しながら各会員の家の名前を覚えるように努め、役割分担などと言わずに役員が参加するイベントや会議にも同行することにも努めるようにしました。

一年生会長として戸惑いながらも、会員の皆さまに負担をかけない、どんな悩み事や苦情にも前向きに聴く耳を持ち役員間で解決策を探りだしましょう。

と言うのを信条として日々活動しています。

私のおすすめの図書

・日本城郭体系全巻　・・・・・・・

・現代語訳　吾妻鏡全16巻

・ニューヨーク黄金時代　海野 弘　著

(株)：ＪＴＢパブリッシングより掲載の許可を得ております。

相武台前　生方良雄著　P96

そうぶだいまえ